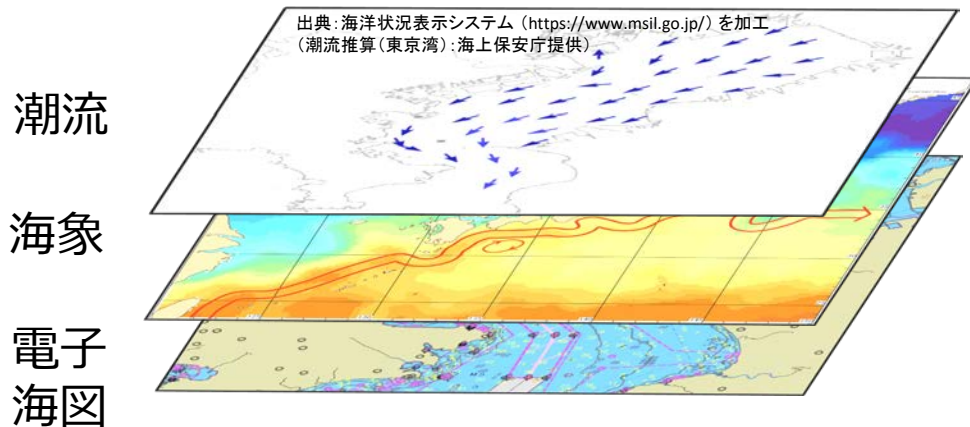


- 次世代電子海図はこれまでの電子海図に潮汐潮流等の様々な情報を重畳可能で、安全性と利便性が大きく向上するもの。
- 国際水路機関（IHO）では次世代電子海図（S101形式）の規格導入を進めており、国際海事機関（IMO）でもECDIS搭載義務のある新造船を念頭に、2026年から次世代電子海図対応表示装置を利用可能に、2029年から義務付けることとした。



次世代電子海図導入スケジュール（表示装置）



次世代電子海図と様々な航海情報の重畳イメージ

